



こんなに違うスマホと
これまでのケータイ

ケータイとスマホの 機能の違い



従来のケータイは、電話の機能をベースにして、メールなどの機能を加えたものです。

スマホは、パソコンの機能をベースにして、電話機能を加えたものです。「使いたい機能」は後からアプリをインストールすることで追加できます。



従来のケータイは、携帯電話会社が提供する回線（電波）を使ってインターネットに接続します。

スマホは上記に加え、無線LAN(Wi-Fiなど)でも接続できます。



スマホには、さまざまな企業が関わっています

従来のケータイを使ったサービスは、携帯電話会社や端末メーカーによって提供されています。スマホの場合、それらの企業に加え、アプリケーション提供者やアプリマーケット運営者、広告配信事業者等、多様な関係者によって成り立っています。そのため、従来のフィルタリングだけでは対応できない場合があり、より細やかな安全対策が必要となっています。

用語解説



● アプリ (アプリケーション)

スマホやタブレットのOS上で動作するソフトウェアのこと。ゲームやSNS等、ユーザーが任意でインストールすることができるソフト (アプリケーションソフト) のことをいい、「アプリ」と略されることが多い。

● インストール

アプリケーションソフトをコンピュータやスマホなどにダウンロードし、ゲームやSNS等の機能を使用可能な状態にすること。

● 無線 LAN

無線を利用して大容量・高速通信が可能な通信回線を利用し、インターネットに接続するもの。無線接続規格の名称のひとつである「Wi-Fi (ワイファイ)」と呼ばれることもある。

子どものスマホ利用には、
「利用時期の見極め」「適切な安全対策」
「保護者の見守り」が大切です。

☑ 利用時期の見極め

スマホはアプリで多様な使い方ができることから、インターネット全般を使いこなす力 (ルールやマナーを守る社会性、責任感、自制心等) が必要です。また、便利で定額だからと使い過ぎて生活を乱したり、健康を害することのないよう、節度ある利用ができるかがポイントです。

それらが難しいなら、子ども向けケータイや、フィルタリングおよび機能制限の活用等で、子どもの年齢や成長度合いに合ったものを与えると安全です。

☑ 適切な安全対策

スマホは、契約する携帯電話会社や機種によって安全対策が異なります。購入・契約の際は必ず、販売店に18歳未満が利用することを伝え、発達段階に合ったフィルタリングや機能制限、安全対策アプリ等の説明を聞いて、適切なスマホの利用環境を整えてあげましょう。

☑ 保護者の見守り

スマホのアプリ利用は、個人の利用者情報の送信を伴うことも多く、利用規約をよく読んで確認し、納得して利用する必要があります。利用しているアプリについて会話をしたり、アプリのダウンロードや新規購入に一定のルールを設けたり、判断が必要なメッセージが画面に出たら保護者に聞くことのできる環境を作るなど、日ごろから相談できる親子関係とコミュニケーションが大切です。

もっとグッドネット宣言



- ① ネットでも思いやりを持って!
- ② 社会のルールとマナーを守って!
- ③ 賢く使って、よりよいコミュニケーションを!

「もっとグッドネット」とは、一人ひとりがICTの利用環境について考え、よりよいネット社会を作っていくという思いを表現した合い言葉。この言葉は、安心ネットづくり促進協会が行う普及啓発活動の総称です。

2013.6.10

保護者のための

スマートフォン

安心安全

ガイド

smartphone security and safety guide



お父さん

スマホは、青少年でも安心安全に使えるものなの?



子ども

スマホで気を付けなければいけないことって?



お母さん

ケータイからスマホに変えると、毎月の支払いが高くなるの?



1億人のネット宣言
もっとグッドネット

安心ネットづくり促進協会
<http://good-net.jp>





Q

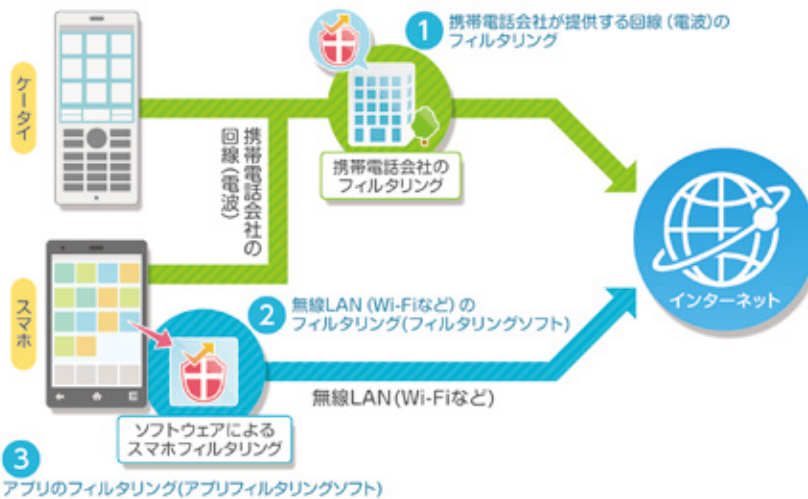
スマホは、青少年でも安心安全に使えるものなの？

A



- 18歳未満は、フィルタリングを介したスマホ利用が安全の鍵です。
- フィルタリングには「携帯電話会社が提供するネットワーク」「無線LAN(Wi-Fiなど)」「アプリ」の3つへの対策が必要です。

回線の違いによるフィルタリングの違い



18歳未満のスマホ利用には3つのフィルタリングが必要です。



1 携帯電話会社が提供する回線(電波)のフィルタリング

スマホでインターネットに接続する場合は、複数の通信手段が利用できます。そのうち携帯電話会社が提供する回線(電波)による接続であれば、携帯電話会社が提供するフィルタリングサービスを適用(加入)することで、青少年に不適切なサイトへのアクセスを自動的に制限することができます。

2 無線LAN(Wi-Fiなど)のフィルタリング(フィルタリングソフト)

無線LAN(Wi-Fiなど)回線を提供しているのは、携帯電話会社だけではありません。そのため、スマホ本体に「フィルタリングソフト」をインストール・設定しておく必要があります。無線LAN(Wi-Fiなど)による接続をOFFにすることもできますので、青少年利用では、フィルタリングソフトを利用するか無線LANを使わないか、いずれか適切な設定を心がけましょう。

3 アプリのフィルタリング(アプリフィルタリングソフト)

利用できるアプリが、すべて安全なアプリとは限りません。不正アプリだけでなく、青少年には不適切なアプリも存在しています。スマホ本体の機能であるペアレンタルコントロール機能や、携帯電話会社の「機能制限アプリ」「アプリフィルタリング」など、さまざまな利用制限(インストール制限、起動制限、カスタマイズ機能等)ができますので、子どもの成長段階に応じた利用環境を作るようにしましょう。



Q

スマホで気を付けなければいけないことって？

A



- 青少年利用では、個人の利用者情報の流出を防ぐことが重要です。
- 安全のため、基本ソフト(OS)を常に最新にしておく必要があります。
- ウイルス対策用アプリを入れるなど、保護者がセキュリティ対策を実施する必要があります。

！ スマホには、セキュリティ対策が必要です。

+ ウイルス対策ソフト

アプリの中にはウイルスが混入しているものもあり、個人の利用者情報(アドレス帳のデータ、位置情報、アプリ利用履歴等)を盗み出したり、データを破損させたりします。携帯電話会社等から、機種に応じたウイルス対策ソフトが提供されていますので、アプリを使うなら必ず導入し、更新も忘れずに行いましょう。

OSの更新

基本ソフト(OS)の更新をすることで、ウイルス感染等の危険性を低くすることができます。更新通知が来たら、後回しにせず、すぐに対応しましょう。

🛒 信頼性の確認

① OS事業者や携帯電話会社が安全性の審査を行うサイト(マーケット)を利用する。② アプリをインストールする前に利用条件や同意事項をしっかりと読む。③ Web等で信頼性や評価を確認する一などを行い、信頼できるものだけを使いましょう。

🔒 セキュリティロック

盗難や紛失の際、スマホの中の情報やデータを守るには、起動ロックや画面ロックは不可欠です。ただし、他人が予想できるパスワードやパターンを避けて設定することが大切です。



Q

ケータイからスマホに変えると、毎月の支払いが高くなるの？

A



- パケット通信料が高額になる可能性があります。
- アプリは無料のものばかりではなく、通信料とは別にアプリの購入代金等が発生するものもあります。

¥ パケット定額プランなど、料金プランを確認しましょう。

電源が入ったスマホは、操作しなくても大量の通信を行うことがあります。従来のケータイはメール受信程度でしたが、スマホではアプリ等の自動アップデート等が行われるためです。自分で思っているよりも、はるかに高いパケット通信料になってしまうこともあるので、パケット定額プランをお勧めします。

✓ 子どもにどういった支払い方法で、いくらまで使っていいかなどを確認しておきましょう。

有料アプリの購入代金は、多くの場合、携帯電話会社の利用料金と合算請求にならず、携帯電話会社による料金通知・制限サービスの料金通知や上限設定も適用されません。また、一つひとつは少額でも、知らず知らずのうちに利用料金が高額になってしまう可能性もあります。アプリ購入の際には、子どもにきちんとコントロールをさせながら、保護者がしっかり管理しましょう。

フィルタリング方法は機種により異なるため、詳しい設定方法等は購入の際、店頭で必ず確認をしましょう。



このリーフレットの内容のもっと詳しい解説は、安心ネットづくり促進協議会ホームページの「青少年のスマホ利用のリスクと対策」(<http://sp.good-net.jp/>)で掲載しています。

※このリーフレットのダウンロードも可能です。

